

「六甲山の災害展」の開催とポータルサイトの開設

神戸県民センター六甲治山事務所・農政環境部農林水産局治山課

1. はじめに

兵庫県では、過去から度重なり発生している六甲山系の土砂災害の歴史を学び、山地災害に関する知識や防災意識の向上を目的として、令和2年8月12日から23日までの間、「六甲山の災害展」を神戸市内の「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」にて開催しました。

例年は、六甲山系に甚大な被害をもたらした「昭和13年阪神大水害」や「昭和42年豪雨災害」、近年発生した豪雨災害等の貴重な記録をパネルや映像により紹介するとともに、災害メカニズムを体験できる土石流の模型実験装置等の展示等を行い、防災・減災対策の普及啓発活動に取り組んできたところです。



六甲山の災害展開催状況



感染症予防対策



六甲山の災害展ポータルサイト トップページ

QRコード

しかし、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、パネル展示のみの開催とし、実験装置による実演等は行わないこととなりました。このため、災害展に関連する様々な防災情報をより多くの県民へ周知するために、「六甲山の災害展ポータルサイト」を開設し、通年で広く情報を発信しています。

2. ポータルサイトの内容

当サイトは、災害展初日の8月12日から県ホームページで公開しており、10のカテゴリーで構成されています。各カテゴリーに掲載している情報について紹介します。

①「六甲山の災害展とは」

六甲山系で過去に発生した災害の概要と、災害展の開催の目的について紹介しています。



サイト紹介 (六甲山の災害展とは)

②「土砂災害の実験・啓発動画リンク集」

土石流実験や雨の降り方の実験映像や土砂災害に関する情報を紹介しているサイトや動画へのリンク集です。様々なサイトへのリンクが貼られていますので防災学習に利用できます。



ひょうごチャンネル (リンク先) 掲載の山地災害に備えてより土石流実験の紹介

③「六甲山の災害展web展示」

災害展で展示している過去の甚大な山地災害とその復旧への取り組み写真、ポスター等の資料を閲覧できます。



昭和13年災害の被災状況

④「これまでの六甲山の災害展」

過去の来場者より災害展を紹介していただいているブログ、SNSサイト等へのリンク集です。

⑤「六甲山の災害史ほか 文献紹介」

六甲山の誕生や地質等の自然環境から六甲山の過去の災害と治山事業の歴史を紹介した『六甲山災害史』をPDFファイルで掲載しています。



『六甲山災害史』

⑥「阪神大水害デジタルアーカイブ」

昭和13年に発生した阪神大水害について、当

時の映像や手記、被災された方々へのインタビュー等、大

害の記録と伝承について取りまとめたサイトへのリンクです。

⑦「六甲山の治山・砂防の歴史」

(株)ラジオ関西制作のYouTubeチャンネルで紹介されている『六甲山の治山の歴史を学ぼう』へのリンクです。元六甲山事務所長の山田裕司氏により、六甲山の治山・砂防、並びに六甲山系の植林の歴史について詳しい解説が動画にて閲覧できます。



阪神大水害デジタルアーカイブ
トップページ



サイト紹介
(六甲の治山・砂防の歴史)

⑧「兵庫県のCGハザードマップ」

兵庫県ホームページに掲載しているCGハザードマップへのリンクです。

⑨「兵庫県・神戸市ほか気象と防災情報リンク集」

国土交通省、気象庁、兵庫県及び阪神間の各市町が発する防災・気象情報へのリンク集です。

⑩「六甲山の歴史・文化・林業遺産の紹介」

「再度山の植林と関連資料」が、(一社)日本森林学会において、令和2年5月に林業遺産として認定されました。認定に至る資料の紹介とリンク先を紹介しています。



明治36年に実施された再度山の積苗工
(写真)と神戸市の造林台帳

3. おわりに

今年度「六甲山の災害展」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響により、来場者数は例年の二割程度約540名まで減少しましたが、「六甲山の災害展ポータルサイト」の公開によって、災害展終了後も六甲山の災害に関する様々な情報を広く発信することが可能となりました。

今後は、当ポータルサイト情報の更新と充実を図るとともに、防災・減災に関する研修会等で当サイトの紹介を積極的に進め、当サイトの周知により、県民の防災、減災への知識や意識の向上と、将来発生が予想される南海トラフ地震等の災害発生時の被害抑制に繋がることを期待します。